

次期明石市高齢者いきいき福祉計画及び介護保険事業計画の策定について

2023年度(令和5年度)が最終年度となる第8期計画では、団塊の世代が75歳以上となる2025年(令和7年)、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040(令和22年)年を見据えて、支援の必要な人に必要な支援が行き届き、高齢者がいきいき活躍できるまちを基本目標に、地域で支えあい安心して暮らせるまちづくりを目指して、施策に取り組んでいるところです。

現在、国では次期介護保険制度の見直しについて審議が進められ、昨年12月20日の社会保障審議会介護保険部会において、介護保険制度の見直しに関する意見(概要)がまとめられました。

本市に置かましても、介護保険制度の見直しや基本方針等を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる地域共生社会の実現を図るため、あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)で進める「いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」の理念に基づき、2024年(令和6年)度からの3年間を期間とする「明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画」を策定してまいります。

1 国による介護保険制度の見直しに関する意見(抜粋)

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 1 | 地域包括システムの深化・推進 |
| (1) | 生活を支える介護サービス等の基盤の整備 |
| | ・地域の実情に応じた介護サービスの基盤整備 |
| | ・ケアマネジメントの質の向上 |
| (2) | 様々な生活上の困難を支え合う地域共生社会の実現 |
| | ・認知症施策の推進 |
| | ・地域包括支援センターの体制整備等 |
| (3) | 保険者機能の強化 |
| | ・給付適正化・地域差分析 |
| 2 | 介護現場の生産性向上の推進、制度の持続可能性の確保 |
| (1) | 介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進 |
| | ・総合的な介護人材確保対策 |
| | ・生産性の向上により、負担が軽減され働きやすい介護現場の実現 |
| (2) | 給付と負担 |
| | ・高齢者の負担能力に応じた負担の見直し |
| | ・制度間の公平性や均衡等を踏まえた給付内容の見直し 等 |

2 令和5年度のスケジュール(案)

月	内容
4～7	明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会臨時委員の就任
8	第1回会議開催 ※高齢者施策等の状況、各種調査結果の報告 ※国からの基本方針(案)の提示
10	第2回会議開催 ※計画骨子案、サービス見込量の推計、介護保険料の原案
11	第3回会議開催 ※計画素案について
12～	パブリックコメントの実施
R6.2	第4回会議開催 ※パブリックコメント結果報告、最終報告
3	明石市高齢者いきいき福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定